

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【公表番号】特表 2006-509305 (P2006-509305A)
 【公表日】平成 18 年 3 月 16 日 (2006.3.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-011
 【出願番号】特願 2004-559363 (P2004-559363)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 13/38 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/38 3 2 0 A

G 0 6 F 13/38 3 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 4 日 (2006.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ソフトウェアをデバイスへダウンロードする方法であって、

ソフトウェアの供給源を、デバイスとつながっているユニバーサル シリアル バス (Universal Serial Bus, USB) ポートに接続すること、

供給源からデバイスへソフトウェアをダウンロードすること、および、

デバイスのプロセッサ内のレジスタを、USB と関係付けられたレジスタを除いて、リセットすることと、デバイスと関係付けられた USB トランシーバを“オン”状態に維持することと、デバイスと関係付けられた RAM 内の値を、USB と関係付けられた値を除いて、リセットすることと、デバイスと関係付けられたフラッシュメモリをデータモードに設定することとの中の少なくとも 1 つを行うことによって、デバイスをリセットすることを含む方法。

【請求項 2】

前記リセット動作の前に、プロセッサの USB と関係付けられたレジスタが、非デフォルト値で構成される方法であって、

プロセッサ内の全てのレジスタを、USB と関係付けられたレジスタを除いて、リセットすることと、

リセット動作中に、USB と関係付けられたレジスタにおいて、非デフォルト値を維持することとをさらに含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

リセット動作中に、USB トランシーバを“オン”状態に維持することをさらに含む方法であって、USB トランシーバが USB ポートを介してソフトウェアの供給源と通信する請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記リセット動作前に、RAM 内の USB と関係付けられた値が非デフォルト値をもつ方法であって、

RAM 値を、USB と関係付けられた値を除いて、デフォルト値にリセットすることと、

リセット動作中に、USB と関係付けられた値を維持することとをさらに含む請求項

1 記載の方法。

【請求項 5】

リセット動作が、コンピュータのプロセッサ内の全てのレジスタを、U S B と関係付けられたレジスタを除いて、リセットすることと、コンピュータと関係付けられた U S B トランシーバを“オン”状態に維持することと、コンピュータと関係付けられた R A M 内の値を、U S B と関係付けられた値を除いて、リセットすることと、コンピュータと関係付けられたフラッシュメモリをデータモードに設定することとの全てを含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

デバイスが、C D M A 無線デバイスである請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

レジスタをもつ少なくとも1つのプロセッサであって、レジスタの少なくとも幾つかが、事前にリセットされた値を含んでいる、U S B と関係付けられたレジスタである少なくとも1つのプロセッサと、

プロセッサの U S B と関係付けられたレジスタ、および無線通信デバイスの外部のソフトウェアの供給源と通信するように構成された少なくとも1つの U S B トランシーバと

、
プロセッサによって実行可能な論理であって、少なくとも1つのリセット状態のもとで、

U S B と関係付けられたレジスタ以外のレジスタをデフォルト値にリセットすること、

U S B と関係付けられていないレジスタをリセットする一方で、少なくとも、U S B と関係付けられたレジスタ内に事前にリセットされた値を維持すること、および、

無線通信デバイスのリセット動作中に、通電された U S B トランシーバを維持することによって、無線通信デバイスをリセットする論理を含む無線通信デバイス。

【請求項 8】

リセット状態が、ソフトウェアの供給源からソフトウェアをダウンロードすることに関係する請求項 7 記載の無線通信デバイス。

【請求項 9】

プロセッサと通信する少なくとも1つの R A M をさらに含む無線通信デバイスであって、論理が、プロセッサにリセット動作中に幾つかの R A M 値をデフォルト値にリセットさせ、一方で U S B に関係する非デフォルト値を維持する請求項 7 記載の無線通信デバイス。

【請求項 10】

プロセッサと通信するフラッシュメモリをさらに含む無線通信デバイスであって、論理が、プロセッサにリセット動作中にフラッシュメモリをデータモードに構成させる請求項 7 記載の無線通信デバイス。

【請求項 11】

無線通信デバイスが C D M A デバイスである請求項 7 記載の無線通信デバイス。

【請求項 12】

ソフトウェアをデバイスへダウンロードする装置であって、

ソフトウェアの供給源を、デバイスとつながっているユニバーサル シリアル バス (U S B) ポートに接続する手段、

供給源からデバイスへソフトウェアをダウンロードする手段、および、

デバイスのプロセッサ内のレジスタを、U S B と関係付けられたレジスタを除いて、リセットする手段と、デバイスと関係付けられた U S B トランシーバを“オン”状態に維持する手段と、デバイスと関係付けられた R A M 内の値を、U S B と関係付けられた値を除いて、リセットする手段と、デバイスと関係付けられたフラッシュメモリをデータモードに設定する手段との中の少なくとも1つを行うことによって、デバイスをリセットする手段を含む装置。

【請求項 1 3】

前記リセットする手段前に、プロセッサの U S B と関係付けられたレジスタが、非デフォルト値で構成される装置であって、

プロセッサ内の全てのレジスタを、U S B と関係付けられたレジスタを除いて、リセットする手段と、

リセット動作のための手段中に、U S B と関係付けられたレジスタにおいて、非デフォルト値を維持する手段とをさらに含む請求項 1 2 記載の装置。

【請求項 1 4】

リセットする手段中に、U S B トランシーバを“オン”状態に維持する手段をさらに含む装置であって、U S B トランシーバが U S B ポートを介してソフトウェアの供給源と通信する請求項 1 2 記載の装置。

【請求項 1 5】

前記リセットする手段前に、R A M 内の U S B と関係付けられた値が非デフォルト値をもつ装置であって、

R A M 値を、U S B と関係付けられた値を除いて、デフォルト値にリセットする手段と、

リセットする手段中に、U S B と関係付けられた値を維持する手段とをさらに含む請求項 1 2 記載の装置。

【請求項 1 6】

リセットする手段が、コンピュータのプロセッサ内の全てのレジスタを、U S B と関係付けられたレジスタを除いて、リセットする手段と、コンピュータと関係付けられた U S B トランシーバを“オン”状態に維持する手段と、コンピュータと関係付けられた R A M 内の値を、U S B と関係付けられた値を除いて、リセットする手段と、コンピュータと関係付けられたフラッシュメモリをデータモードに設定する手段とを含む請求項 1 2 記載の装置。